

**製品名: Blr1 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab07581**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	42kDa

**抗原情報**

遺伝子名	CXCR5
別名	CXCR5; BLR1; MDR15; C-X-C chemokine receptor type 5; CXC-R5; CXCR-5; Burkitt lymphoma receptor 1; Monocyte-derived receptor 15; MDR-15; CD185
遺伝子 ID	643.0
SwissProt ID	P32302
免疫原	抗血清は、ヒト CXCR5 の N 末端領域由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 1-50

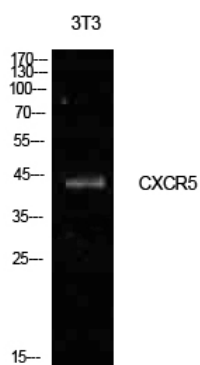
**背景**

C-X-Cモチーフケモカイン受容体5 (CXCR5) ホモサピエンス この遺伝子は、CXCケモカイン受容体ファミリーに属する複数回膜貫通型タンパク質をコードしています。成熟B細胞およびバーキットリンパ腫で発現しています。このサイトカイン受容体はBリンパ球走化性因子 (BLC) に結合し、脾臓およびパイエル板のB細胞濾胞へのB細胞遊走に関与しています。この遺伝子については、異なるアイソフォームをコードする選択的スプライシング転写バリエーションが報告されています。[RefSeq 提供、2011年8月]、機能: Bリンパ球走化性因子 (BLC) に結合するサイトカイン受容体。脾臓およびパイエル板のB細胞濾胞へのB細胞遊走に関与していますが、腸間膜リンパ節や末梢リンパ節のB細胞濾胞へのB細胞遊走には関与していません。バーキットリンパ腫 (BL) のリンパ腫形成および/またはB細胞の分化において調節機能を有する可能性がある。、オンライン情報:CXCケモカイン受容体のエントリ、類似性:Gタンパク質共役受容体1ファミリーに属する。、組織特異性:成熟B細胞およびバーキットリンパ腫細胞で発現する。、

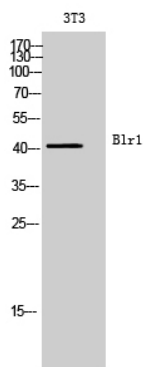
## 研究分野

サイトカイン-サイトカイン受容体相互作用;ケモカイン;

## 画像データ



Blr1 ポリクローナル抗体を用いた NIH-3T3 細胞のウェスタンブロット分析。二次抗体は1:20000に希釈された。



Blr1 ポリクローナル抗体を用いた 3T3 細胞のウェスタンブロット解析。二次抗体は1:20000に希釈した。